

今回の研修に参加できたことを嬉しく思います。約1年前の参加申し込みをしてから、この日が来るのを心待ちにしていました。

これまで多くの先輩方が参加され、スウェーデンの歯科医療の哲学を肌で感じることができ、素晴らしい研修であるということはお聞きしていました。研修を終えた今、哲学を感じるという抽象的な言葉の意味を理解できたように思います。

さまざまなエビデンスやそれに基づいたスウェーデンの教育や支払いのシステム、サリバ実習など充実した5日間でした。特に今回から行われたファントムでのハンズオンでは、3時間じっくり実習を行い日々の臨床を思い返し苦手部分を質問し実際に指導していただいたことで、自分の知識・技術を見直すことができました。

今回の研修を通して講師の先生方、公立の歯科医院で働く方々が一貫して健康を守るためにはどうしたら良いかという考えに基づいていることを、お話してくださる言葉の端々に感じました。言葉で表すことは難しいのですが、歯科医療を行う上で重要な考え方が身に沁みたとに思います。

日吉歯科で働いていると、リスクを評価・コントロールして疾病を予防するという考えは当たり前になっており、通院している患者さんもその重要性を理解していただいていると思います。ただ、日吉歯科から一歩外に出ると日本ではまだまだ歯医者は具合が悪くなったら行くところ、虫歯は削ってつめる、良い治療をしてくれるのが良い歯医者という考えが広く、だからこそ「予防歯科」という言葉に患者さんは興味を示し、「予防をやっている歯医者さん」を求めるのだと思いました。今回の研修で学べば学ぶほど、歯科医療の本質は発症前の診断とリスクコントロールが鍵を握っており、そのために歯科医療者が力を尽くすことができれば、日本でもより口腔の健康の価値を高めることができるという思いを改めて強くしました。

最後に、マルメ大学の講師の先生方、この研修に参加する機会を与えてくださった院長先生はじめスタッフのみなさん、研修の運営に携わっていただいたすべての方に感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。